

聞いてきました  
みんなの広場 31

今回は「漢詩の会」を石川委員が取材しました

合い言葉は、「誰でも楽しくつくりたい」



漢詩を勉強中

会の発足はいつごろ?

4回の研修を経て平成27年12月から本格的に始めました。4名でのスタートですが、今後増えていきます。参加してください。

漢詩を学ぶ意義は?

漢文は平安時代に空海が唐から持ち帰り、それ以降、日本文化として育ちました。明治までは漢文が必須科目だったため、文豪は漢詩ができました。その後、必須科目から外されて衰退しました。日本文化の継承として漢詩を勉強します。

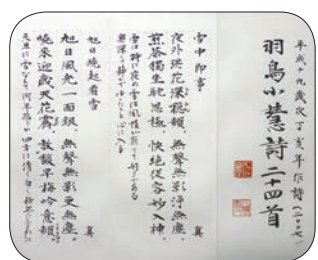
どのように学びましたか?

漢詩を学び始めて20年、20回以上、中国を訪ねました。中国古典学を専門とする濱口富士雄県立女子大学長から8年、ゼミ学生として学びました。

漢文の基礎から学び、返り点のない白文を読むことで力をつけました。

この会の設立趣旨は?

生涯学習として漢詩のつくり方を学び、教養を深め、精神のバランスを保ちつつ老化を予防する、総じて充実した人生を感じていただきたいという思いです。



議会だよりを読んでいますか。その感想は?

玉村町に、私の知らないことや知らない人がたくさんいることを知りました。もっと知りたいです。

お話を伺ったのは 漢詩の会代表 羽鳥美晴さん

こちら編集室

たまむら 議会だより  
ひまわり 護りて 明日は我が身よ 四苦八苦  
(詠み人 こうわさん)

東日本大震災から5年が経ちました。当日は、午前中学校の卒業式があり、午後には議会が開かれ一般質問でした。答弁席の貫井町長が「立ってられない」と、議事の中断を求めました。



今なお、地震・津波に続き、原発事故のため、多くの人が避難生活を余儀なくされています。一日も早い復興を願います。

さて、当町においては、「町の人口を増やし、町の活性化を図ること」と、町の財政を健全化し、玉村町発展の基盤をつくる」との公約を掲げ新町長が誕生しました。今議会冒頭の専決処分承認議案が不承認になり、荒れた船出となりました。

議会広報特別委員会

委員長	渡辺 俊彦
副委員長	宇津木 治宣
委員	川端 均
委員	石川 宏和
委員	筑井 眞男
委員	高橋 茂樹

次回定例会の予定

6月3日 開会予定です

本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます

3月議会の傍聴者は163人でした。(男性：111人・女性52人)

年代別割合

10代	30代	40代	なし
70代	38%	80代	7%
60代	42%	50代	9%
20代	4%		